

授業科目 病理学

【担当教員名】 石田寛友、大西義久、山本通子		対象学年	2	対象学科	理学・作業
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【概要】 病理学は疾病の原因とその成り立ち（病態発生）についての学問で、医学・医療分野の基礎的科目の1つである。 種々の疾病に関して、その原因を明らかにし、その原因が生体にどのように作用し、生体がどのように反応し、その結果どうなるかを 知ることは、疾患の診断・治療・予後を理解するのに役立つ。 授業では病理学総論を中心に学習する。					
【学習目標】 1) 退行性病変（変性、萎縮、壊死）および進行性病変（再生、化生、肥大、過形成）について学ぶ。 2) 創傷治癒過程と炎症の時間経過、生体の反応について理解する。 3) 循環障害、とくに梗塞、血栓症、塞栓症について具体例を含めて理解する。 4) 免疫とは何かについて、免疫系の全体像を把握し、アレルギー疾患や自己免疫疾患を理解する。 5) 感染症の成立要因と防御機構、病原微生物の種類、代表的疾患について学ぶ。 6) 腫瘍の定義、命名法、分類法、生物学的特性を理解し、検査データなどの臨床的事項も学ぶ。 7) 蛋白質、糖質、脂質およびミネラルの代謝異常について学習する。					
回数	授業計画又は学習の主題			SBO	
				番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	病理学とは	病理解剖の映画・病理診断			講義：大西義久
2	細胞の生と死の病理学	壊死、類壊死、修復と再生			講義：大西義久
3	骨折と創傷の治療	進行性病変			講義：大西義久
4	循環障害	充血とうっ血、血栓、塞栓、梗塞（心筋梗塞）、出血、ショック、脱水症			講義：大西義久
5	アレルギーと免疫1	基本様式			講義：山本通子
6	アレルギーと免疫2	自己免疫			講義：山本通子
7	古典的炎症	肺炎			講義：山本通子
8	腫瘍1	腫瘍とは			講義：石田寛友
9	感染と感染症	細菌、ウイルス、エイズなど			講義：山本通子
10	腫瘍2	腫瘍の進展（胃ガンと骨肉腫）			講義：石田寛友
11	代謝1	代謝異常			講義：山本通子
12	腫瘍3	特殊な腫瘍			講義：石田寛友
13	代謝2	代謝異常			講義：山本通子
14	腫瘍4	腫瘍の分類、遺伝と先天異常			講義：石田寛友
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書		シンプル病理学		南江堂	2900円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 定期試験		【履修上の留意点】			